

## 教員個人調査表記載要領

- ①希望職名：教授，准教授，講師，非常勤講師の別を記載する。
- ②担当分野等：専任の場合は担当分野を，非常勤講師の場合は授業題目と開設予定の学期を記入する。
- ③学歴：高等学校卒業（又はそれに該当する学歴）以後を記入する。
- ④職歴：本職が継続しないときは，非常勤講師等の経歴も記入（週当たり時間数付記）する。無職の期間は理由を付けて記入する。  
本職に就いている期間の非常勤講師歴は「教育上の業績」に記載する。
- ⑤学位，資格，受賞等：担当分野に関連する学位（修士以上），資格，受賞等の順に記入する。博士については博士論文名を記入する。また，学位・免許状等は原本の記載どおりに記入する。
- ⑥研究業績：
  - ア．この欄に記入しきれない場合は，この欄は「別紙記載のとおり」として，別紙（A4サイズ）に記入する。
  - イ．担当分野（又は授業）に関連した業績で印刷・公表されたものを記載することとし，印刷中又は受理された業績はその旨を付記する。
  - ウ．非常勤講師の場合は，最近の業績を中心に，主要な数編を記載する。
  - エ．著書（単著・共著），研究論文（学会誌等・その他），その他（辞書・辞典，教科書，報告書，翻訳，学術集会での招待講演，特許・実用新案，等）に区分し，各項目ごとに発表順に番号を付して記載する。
    - (a) 著書は，発表年，著者又は編者，書名，発行所，全頁数を記入する。  
分担執筆の場合は，担当項目及びその掲載頁も記入する。
    - (b) 論文は，発表年，著者，表題，雑誌名又は所収の書名，（発行機関・発行所）巻（号），掲載頁を記入する。
    - (c) 辞書・辞典等は，発行年，編者，書名，発行所，（全巻数又は全頁数）担当項目，掲載頁を記載する。
    - (d) 上記(b)，(c)の括弧内が不詳の場合は省略できる。
    - (e) 著者名と論文表題は印刷されたとおりに記載する。欧文雑誌名は略記してもよい。
    - (f) 共著の場合の著者名は，著書・論文等に示された順に記載し，本人の氏名に下線を引く。
    - (g) 記載にあたっては書式の全体としての体裁の統一をはかること。
  - オ．実技分野において業績と認められるもの：

音	楽	リサイタル，公演，作曲，指揮，CD等録音，楽譜出版等
美術・書道		展覧会出品，入選，受賞，個展，グループ展等
体	育	選手歴，監督歴，コーチ歴，それらの記録等
  - カ．参考事項として，科学研究費補助金等の公的な研究助成金の受給状況（ただし，研究代表者として受給したものに限る）を記入する。
  - キ．記載された業績を証明できるもの（当該書籍，別刷，又はコピー，著書の目次・奥付のコピー，パンフレット，プログラム等）を提出する。印刷中又は受理された業績は校正刷・原稿のコピーを提出する。
- ⑦教育上の業績：専任・非常勤（短大又はそれと同等以上の学校における）とも，授業題目のうち主なものを記入する。大学院で担当している授業も記入する。